

事業目標

- ① 「普及啓発」 より多くの方が、壮年期から自分自身の脳の健康に意識を向け、脳とからだの健康維持を目指した生活をおくることが出来る。
また、認知症やMCIを正しく理解し、困った時に自ら医療機関や相談機関に相談することが出来る。
- ② 「早期支援」 必要な人が早期に、容態に応じた適切な医療・介護・生活支援等を受けることができる。

検診対象者

55・60・65・70・75歳

一般区民

55～75歳の検診対象者以外で希望する方

新規

◎ 6月20日 対象者全員に個別通知

郵送物 セルフチェック/認知症ケアパス/啓発物/受診票 等

◎ 区報(6月25日号)等で周知

「認知機能をセルフチェックしませんか？」
電話・電子申請で申込受付(8月29日まで) ⇒ 郵送

郵送物 セルフチェック/認知症ケアパス/啓発物 等

検診対象者・一般区民で希望する方共通

新規

- ① 自宅で『気づきチェックリスト』 & 『のうKNOW』を実施
- ② 『文の京あたまとからだの健康フェア』 7月17日・9月9日

まずは脳の健康を自分事に！

拡充

セルフチェックの結果、心配のある方等は検診の申込へ

必要時、医療機関や高齢者あんしん相談センターへ相談するよう案内

協力医療機関で検診受診(6月23日～9月30日)

※認知症の診断を受けている方は対象外

認知機能低下
疑いあり

相談先や生活支援
が必要

問題なし

精査が必要

専門医療機関
で精査

検診実施医療機関
or
かかりつけフォロー

高齢者あんしん相談センター
個別電話フォローを実施

受診者全員に案内

未受診者を必要時適切な医療に繋げる

診断後支援

対象者の状況に応じた社会資源への繋ぎや支援を実施

認知症とともにフォローアップ プログラム(10・12月)

栄養・歯科・運動のミニ講座や
個別相談が出来るプログラム
生活習慣を見直すきっかけと、地域の
専門職とつながる機会を提供

医療・支援の必要性を判断



普及啓発

検診事業

検診後支援